



がんばろう中小企業者！ 学び交流し、商売とくらしに、役立てよう！

商売に向きあう姿に感動が!!

毎年開催されている商売を語る会が11月26日開催されました。今回は18回目ですが、毎回業者の仕事に向きあう姿が参加している者に大きな感動と共感を与えてくれます。身近にいる会員ですが、仕事に向き合う心構えや、情熱は、なかなか伝わって来ませんが、改めて話を聞く事によって新しい発見が生き生きと伝わってきます。今回の三人の話の中から、さまざまな商売のヒントを得た参加者も多かったことと思います。

第18回 商売を語る会に 40人が参加

令和3年11月26日(金)
白河人材育成センター

無料法律相談

12月9日(木) 午後4時

相談のある方は事務所まで連絡をお願いします



●人口5,000人の地域の中で

東支部 田崎 礼子さん(自動車整備業)



車のIT化の中で検査機械の導入も求められ、

借金もしながら体制をとっている。税金や社会保険関係でも困ったことがあれば即伺い、対話して解決している。小さい会社だが、元気な会社をめざし、社員も会社も元気がモットーです。

●人は変われる

白河5支部 溝口 隆さん(警備業)



以前はパチンコ・酒の毎日で大学をやめたが、結婚し、娘(小学生)の目標に向かっている姿や妻の言葉にも励まされて変わるきっかけになったと言います。

経営者の品格は大切に思い、持ち物、着るものはメーカー品を揃えて、常にスーツを着用し、新鮮な気持ちで交流を広げています。また、「来年から新事業にも挑戦します。」と宣伝も忘れません。本日の参加者の中に青年がいないことを残念に思い民商に対して、何か一つでもプラスになることを青年にもアピールできる民商を期待したいと訴えていました。

●商売・これからの時代を生きる

白河5支部 草野 雅夫さん(レストラン)



大震災後、店舗が競売にかかり仲間や民商の応援で、営業を続けることができた。でも、倒産したとの

噂が広まり、人は去っていきました。こういう中、東京の百貨店での開業の中、いろんな経営者との交流も広まっています。このコロナが世界を変え、これからはSDG'sの取り組みは商売にとっては大変。子供から大人まで良質な食事を提供すると決めています。料理を通して上質な時間を提供していきたい。今は一日一組の予約に限定し、営業をしています。